

## 大震災に対するエルピーガス協会の対応（第3報）

平成 23 年 4 月 1 日  
(社) エルピーガス協会

- ・ L P ガス協会は、民主党および自由民主党に大震災に関わる要望書を提出。
- ・ 協会関係者が次々と支援物資を現地に供給。

### 1、L P ガス協会は民主党、自由民主党に対し要望書を提出

(社) エルピーガス協会会長の川本宜彦は、29 日に民主党 L P ガス議員連盟会長の増子輝彦参議院議員、および自由民主党 L P G 対策議員連盟会長の野田毅衆議院議員に面会して、今回の東日本大震災の復興支援に関わる要望を行った。

また、民主党の経済産業部門会議座長および自由民主党組織運動本部長・団体総局長あてにも同様の要望書を提出した。

要望の内容は、以下の通り。

#### (1) 被災者への L P ガス供給支援

##### ① L P ガス料金の免除

被災されたお客様や仮設住宅に入居したお客様の L P ガス料金を免除し、販売事業者に対し国等が代わりに補てんすることを要望。

##### ② L P ガス設置費用の免除

被災を受けた L P ガス消費者が自宅の再建や改造の際に L P ガスの供給設備を設置する場合の費用等の補てんを要望。

## (2) L P ガスの安定供給の確保

### ① L P ガス国家備蓄の放出

L P ガスの安定供給のため、需給バランスをにらみつつ、弾力的な備蓄の放出の検討を要望。

### ② 被災充てん所の修復費用の補てん

今後 L P ガス供給が不安定になることが予想されるため、被害を受けた充てん所（40 か所以上）に対する新設及び修復費用の支援。

## (3) 学校、公民館等への災害対応設備の常時設置に対する支援

今回の経験を生かし災害時の避難所になる学校や公民館などにあらかじめ災害対応設備を設置するための支援。

燃料電池や G H P、太陽光発電、蓄電池をはじめバルクや L P ガス関連器具、消費設備であるガスコンロ、湯沸器等、さらには暖房設備などの常設に対する支援。

## 2、協会関係者の支援物資の供給

先日当協会は緊急に対応できる L P ガス支援物資の調査を行ったが、その中から次々と現地に物資が送られている。たとえば、近畿エルピーガス連合会（近畿ブロック）より義援金 1400 万円とともにカセットコンロ 504 個及び同ポンペを 2112 本被災地に送付。秋田県協より避難所で必要な大型コンロを 80 個送付。三重県協より L P ガス容器 10 kg 100 本、20 kg 200 本合計 300 本約 5 t 相当と発電機 8 台等を被災地へ 4 月 6 日に送ることとしている。

さらに、神奈川県協会では 50 kg 容器 1000 本を順次用意し、これを含めて必要な予算として 1000 万円を用意して支援することとなっている。

この他の県協会や企業でも独自で支援を行っている。

本件に対するお問い合わせ  
（社）エルピーガス協会  
03-3593-3500